



小田井原合戦図

江戸時代の錦絵。中央に描かれるのが時の城主、小田井又六郎。
この絵は、錦絵のため派手な構図となっているが、当時の小田井城はこのように立派な天守閣などなく、砦に近いものであったと考えられる。

対武田信玄 小田井原の合戦

今からおおよそ500年前、天文11年(1542)、甲斐の国の武田信玄は、諏訪に侵入し、信濃攻略を開始した。佐久の攻略は、翌12年より開始された。

天文16年(1547)7月、信玄は佐久の志賀城を攻めるが、その抵抗は激しかった。この戦いに際し、志賀氏支援のために立ち上がった上野(群馬)の武士たちは浅間山麓を進んだ。これに対し武田勢は板垣信方などを派遣し、ついに小田井で決戦の火蓋が切って落とされたのである。よく知られた川中島の戦いの6年前の出来事であった。

この決戦は、小田井原の戦いといわれているが、実際には小田井城を取り巻く周辺が戦闘の地となったのであろう。

しかし、この小田井原の戦いも、時の城主小田井又六郎以下すべての将兵が討ち死にしたと伝えられている。事実信玄が、小田井原の合戦で手柄をたてた武士に贈った感謝状も通なども残されている。

佐久は、この戦いの後、およそ30年間、武田氏の領国として支配下に置かれたのであった。



空からみた小田井城跡

企画展 “仮面の縄文”

■9月9日(日)まで お見のがしなく! ■浅間縄文ミュージアム 企画展示室

御代田町の人口(4月1日現在)

●人口 14,231人(先月比+26) 男 7,131人 女 7,100人
●世帯数 5,501世帯(先月比+28) ●外国人登録者数 722人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2 ☎0267-32-3111